

3 経営成績（損益計算書）について

(1) 経営成績の概括

損益計算書に示される経営成績は、次表のとおりである。

(単位:千円・%・ポイント)

区 分	平成24年度		平成23年度		増 減	
	金額 / 比率	構成比	金額 / 比率	構成比	金額 / 比率	増 減 率
総収益	4,433,637	100	4,632,747	100	199,110	4.3
総費用	3,845,638	100	4,006,269	100	160,631	4.0
(経常損益)						
経常収益	4,430,922	100.0	4,512,721	97.4	81,799	1.8
営業収益	4,409,781	99.5	4,497,353	97.1	87,572	1.9
営業外収益	21,141	0.5	15,368	0.3	5,773	37.6
経常費用	3,839,572	99.8	3,998,421	99.8	158,849	4.0
営業費用	3,657,308	95.1	3,804,999	95.0	147,691	3.9
営業外費用	182,264	4.7	193,422	4.8	11,158	5.8
(特別損益)						
特別利益	2,715	0.0	120,026	2.6	117,311	97.7
特別損失	6,066	0.2	7,848	0.2	1,782	22.7
当年度純利益	587,999	-	626,478	-	38,479	6.1
前年度繰越利益剰余金	121,471	-	194,992	-	73,521	37.7
当年度未処分利益剰余金	709,470	-	821,470	-	112,000	13.6
経常収支比率	115.4%	-	112.9%	-	2.5	-
営業収支比率	120.6%	-	118.2%	-	2.4	-

(備考)

- 1 営業収支比率は、営業収益から受託工事収益を、営業費用から受託工事費を、それぞれ除いた数値を用いて算出している。(平成23年度及び24年度は、受託工事収益、同費用とも発生していない。)
- 2 平成23年度当年度未処分利益剰余金821,470千円から減債積立金700,000千円を減じた額121,470千円と、24年度前年度繰越利益剰余金121,471千円が一致しないのは、当意見書においては、まず当年度純利益及び当年度未処分利益剰余金の千円単位の数値(百円未満切捨て)を確定させた後、前年度繰越利益剰余金を算出しているためである。
- 3 前年度繰越利益剰余金及び当年度未処分利益剰余金の増減率は、前年度の当年度未処分利益剰余金のうち、どの程度積立金に積み立てるかにより変動する数値であるため、参考として表示している。

総収益は、特別利益において、前年度ほど大きな土地売却収益がなかったことや、営業収益において、前年度まで実施されていた福岡県南広域水道企業団に対する応援給水がなかったことなどによる水道料金収入の減少を主な要因として、減少している。

総費用は、営業費用において、水道料金等関連業務の包括的委託の実施による委託料の増加や、退職者数の増による退職給与金の増加などはあったものの、前年度ほど大きな固定資

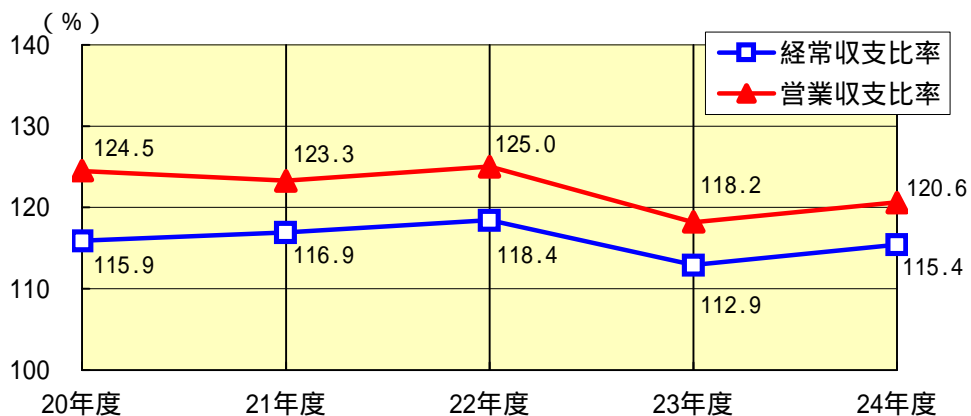
産の除却がなかったことによる固定資産除却費の減少や、前記の業務委託に伴う職員給与費及び雑給の減少を主な要因として、減少している。

当年度純利益は、総収益が総費用以上に減少したために、前年度と比べて減少しており、前年度繰越利益剰余金 1 億 2,147 万円と合わせて、7 億 947 万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

経常収支比率及び営業収支比率はともに 100%を超え、黒字を生み出す良好な状態を維持しており、前年度との比較においても経常収支比率が 2.5 ポイント、営業収支比率は 2.4 ポイント上昇している。

また、両比率の過去 5 か年の推移については、次表のとおりとなっており、前年度は用途廃止資産（旧江上配水場及び旧田川配水場など）の除却に係る固定資産除却費の計上などにより費用が増加し、これを主な要因として両比率ともに低下していたが、本年度は上昇した。

経常収支比率及び営業収支比率の推移



(2) 経常収益及び経常費用

ア 営業収益及び営業費用

営業収益の増減

総収益に対する割合は 99.5%で、比率では前年度より 2.4 ポイント上昇したが、決算額では 8,757 万 2 千円 (1.9%) の減少となっている。

なお、給水収益（水道料金）については、総収益に対する割合は 97.2%で、比率では前年度より 2.3 ポイント上昇したが、決算額では 8,729 万 8 千円 (2.0%) の減少となっている。

【主な増減費目】

[増 加 分]

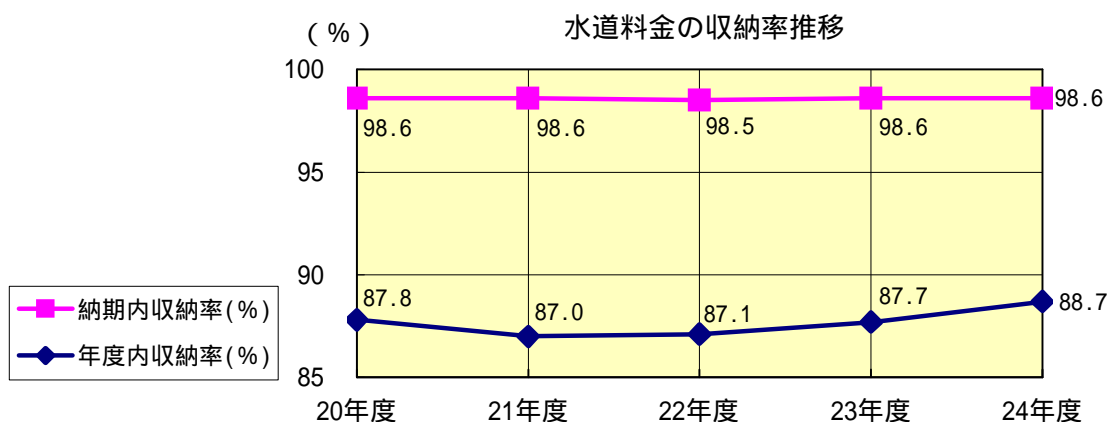
・雑収益 74,193 千円

[減 少 分]

・水道料金 87,298 千円

・事務受託手数料 74,951 千円

なお、最近5か年間の水道料金の収納状況（記載金額は消費税及び地方消費税を含む。）は、次表のとおりである。



現年度分

(単位:千円・%・ポイント)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
調定額 A	4,694,482	4,698,986	4,723,733	4,615,960	4,524,454
収入額 B	4,121,373	4,086,522	4,112,902	4,050,171	4,015,322
未収額 A - B	573,109	612,464	610,831	565,789	509,132
年度内収納率 B / A	87.8	87.0	87.1	87.7	88.7
対前年度比較増減	0.2	0.8	0.1	0.6	1.0
納期内収納額 C	4,626,296	4,631,925	4,654,031	4,551,375	4,460,729
納期内収納率 C / A	98.6	98.6	98.5	98.6	98.6
対前年度比較増減	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0

(備考)

- 1 各金額には、本年度の過年度損益修正益を含む。
- 2 未収額には、納期末到来分を含む。
- 3 年度内収納率は、当年度内の調定額に対する、当年度内の収納額の割合である。
- 4 対前年度比較増減は、年度末収納率(%)又は納期内収納率(%)の対前年度差(ポイント)である。
- 5 納期内収納率は、当年度内の調定額に対する、正当な納期（通常は4月末日）内の収納額（納期内収納額）の割合である。

調定額及び収入額は、平成22年度まではおおむね増加傾向にあったが、23年度に減少に転じ、本年度も減少しており、納期内収納額についても同様の傾向となっている。

納期内収納率は98%台半ば以上で推移し、本年度は98.6%である。平成24年度の納期内収納金額を納付方法別にみると、口座振替の割合が74.3%（収納率99.6%）、口座振替以外の割合が25.7%（収納率95.8%）となっている。

過年度分

(単位:千円・%・ポイント)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
調定額 a	641,762	581,945	619,008	614,061	569,831
収入額 b	623,686	565,615	606,232	603,159	557,698
不納欠損額 c	6,514	7,069	5,519	4,110	3,428
未収額 a-b-c	11,562	9,261	7,257	6,792	8,705
収納率 b/a	97.2	97.2	97.9	98.2	97.9
対前年度比較増減	6.0	0.0	0.7	0.3	0.3

(備考)

- 1 調定額(前年度からの繰越額)は、前年度の現年度分未収額及び過年度分未収額の合計から、本年度の過年度損益修正損(過年度料金調定減額)を差し引いた額である。
- 2 対前年度比較増減は、収納率(%)の対前年度差(ポイント)である。

営業費用の増減

総費用に対する割合は95.1%で、比率では前年度より0.1ポイント上昇したが、決算額では1億4,769万1千円(3.9%)の減少となっている。項目別では、次のとおりである。

(ア) 原水及び浄水費

総費用に対する割合は29.5%で、比率では前年度より0.8ポイント上昇したが、決算額では1,423万8千円(1.2%)の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]

・職員給与費	2,540千円
・負担金	1,128千円

[減少分]

・修繕費	11,438千円
・委託料	5,248千円
・受水費	1,950千円

(イ) 配水及び給水費

総費用に対する割合は14.9%で、比率では前年度より0.1ポイント上昇したが、決算額では1,973万9千円(3.3%)の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]

・委託料	10,443千円
------	----------

[減少分]

・雑給	17,464千円
・修繕費	11,141千円

(ウ) 受託工事費

貯蔵品の出庫に伴って生じる費用であるが、本年度は発生がなかった。

(I) 業務費

総費用に対する割合は 9.0%で、比率では前年度より 0.1 ポイント低下し、決算額では 1,756 万 6 千円 (4.8%) の減少となっている。

【主な増減費目】

[増 加 分]		[減 少 分]	
・委託料	88,060 千円	・職員給与費	82,973 千円
・賃借料	1,384 千円	・雑給	20,615 千円
		・印刷製本費	1,084 千円

(オ) 総係費

総費用に対する割合は 10.0%で、比率では前年度より 0.9 ポイント上昇し、決算額では 2,091 万 1 千円 (5.7%) の増加となっている。

【主な増減費目】

[増 加 分]		[減 少 分]	
・職員給与費	37,610 千円	・修繕費	10,322 千円
・委託料	3,461 千円	・雑給	4,579 千円
		・備消耗品費	1,508 千円

(カ) 減価償却費

総費用に対する割合は 29.1%で、比率では前年度より 2.0 ポイント上昇し、決算額では 3,108 万 1 千円 (2.9%) の増加となっている。

【増減費目】

[増 加 分]		[減 少 分]	
・有形固定資産 減価償却費	31,081 千円	(な し)	

(キ) 資産減耗費

総費用に対する割合は 2.6%で、比率では前年度より 3.6 ポイント低下し、決算額では 1 億 4,814 万 1 千円 (60.2%) の減少となっている。

【増減費目】

[増 加 分]		[減 少 分]	
(な し)		・固定資産除却費	148,141 千円

イ 営業外収益及び営業外費用

営業外収益の増減

総収益に対する割合は 0.5% で、比率では前年度より 0.2 ポイント上昇し、決算額では 577 万 3 千円 (37.6%) の増加となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]
・雑収益	5,203 千円	(なし)

営業外費用の増減

総費用に対する割合は 4.7% で、比率では前年度より 0.1 ポイント低下し、決算額では 1,115 万 8 千円 (5.8%) の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]
(なし)		・企業債利息 11,687 千円

(3) 特別利益及び特別損失

ア 特別利益の増減

総収益に対する割合は 0.0% で、比率では前年度より 2.6 ポイント低下し、決算額では 1 億 1,731 万 1 千円 (97.7%) の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]
(なし)		・固定資産売却益 113,315 千円
		・その他特別利益 3,865 千円

イ 特別損失の増減

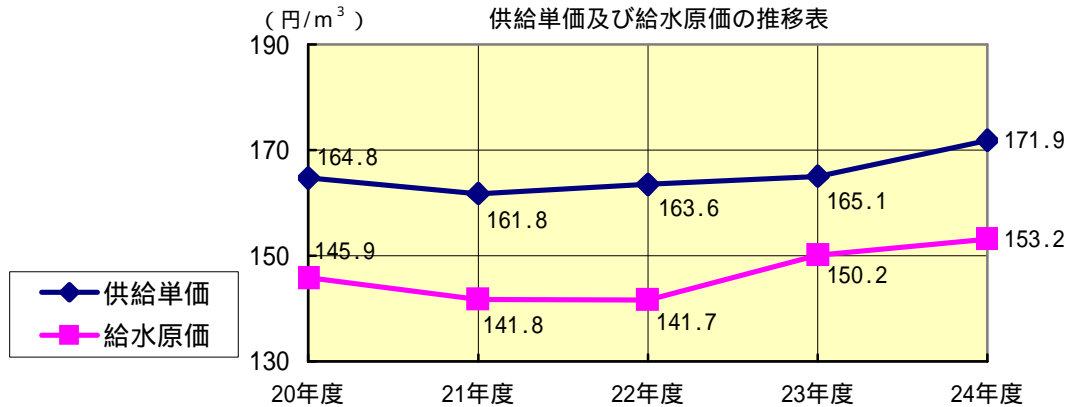
総費用に対する割合は 0.2% で、前年度と同じ比率であるが、決算額では 178 万 2 千円 (22.7%) の減少となっている。

【主な増減費目】

[増加分]		[減少分]
(なし)		・過年度損益修正損 1,721 千円

(4) 供給単価・給水原価

有収水量 1 m³当たりの供給単価及び給水原価は、次表のとおりである。



(単位:円/m³)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
供給単価 A	164.8	161.8	163.6	165.1	171.9
給水原価 B	145.9	141.8	141.7	150.2	153.2
受水費	24.7	24.2	24.3	25.2	26.7
人件費	31.3	29.6	31.2	29.3	29.4
減価償却費	39.3	39.4	40.0	40.8	44.6
企業債利息	10.8	7.7	7.9	7.3	7.3
その他経費	39.8	40.9	38.3	47.6	45.2
利 益 A - B	18.9	20.0	21.9	14.9	18.7

(備考)

- 1 供給単価 = 給水収益 / 年間有収水量
- 2 給水原価 = { 経常経費 - (受託工事費 + 材料及び不用品売却原価) } / 年間有収水量
- 3 利 益 = 供給単価 - 給水原価
- 4 給水原価の内訳は、各費用を年間有収水量で除した数値であるため、それぞれの決算額の増減の傾向とは異なる場合がある。

供給単価は、高いほど 1 m³当たりの給水収益が多いことを示す。平成 22 年度以降は上昇傾向にあり、本年度は主に単価が安い応援給水がなかったことにより、上昇している。

給水原価は、低いほど 1 m³当たりの給水経費が少ないことを示す。平成 22 年度までは低下傾向にあったが、前年度に上昇に転じ、本年度も引き続き上昇している。これは主に、国の引堤工事に伴い改良した太郎原取水場の施設分の固定資産が増加したことにより、減価償却費が上昇したことによるものである。

それ以外の給水原価の内訳を見ると、受水費は平成 22 年度以降は上昇傾向にある。人件費及び企業債利息は、前年度までは上昇と低下を繰り返していたが、本年度は前年度とほぼ同程度の数値となっている。その他の経費は前年度には大きく上昇したが、本年度は低下している。

利益は、1 m³当たりの利益額を示す。平成 22 年度までは上昇傾向にあったが、前年度は大きく減少し、本年度は供給単価の上昇により再び上昇している。